

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

特許第2998785号  
(P2998785)

(45) 発行日 平成12年1月11日 (2000.1.11)

(24) 登録日 平成11年11月5日 (1999.11.5)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

G 0 6 F 17/60

G 0 6 F 15/21

Z

H 0 4 M 11/00

3 0 3

H 0 4 M 11/00

3 0 3

請求項の数2 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平7-335004

(22) 出願日 平成7年12月22日 (1995.12.22)

(65) 公開番号 特開平9-179905

(43) 公開日 平成9年7月11日 (1997.7.11)

審査請求日 平成7年12月22日 (1995.12.22)

(73) 特許権者 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 本多 良成

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気  
株式会社内

(74) 代理人 100071272

弁理士 後藤 洋介 (外1名)

審査官 金子 幸一

(56) 参考文献 特開 平4-321156 (J P, A)

「BASIC magazine」、  
第14巻、第12号、1995年12月1日発行、  
p. 46, 47

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ユーザ登録システム

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信機能を有する電子機器の購入後、該電子機器の最初の立ち上げ時にユーザ登録に必要な情報をホストコンピュータに登録するユーザ登録システムであって、該電子機器には、電話回線を通じた通信を可能とするモデムと、電話回線を通して前記ホストコンピュータに接続できるすべてのアクセスポイントを格納したアクセスポイントテーブルとが備えられていると共に、前記最初の立ち上げ時に、内蔵する制御部にあらかじめ定められたユーザ登録動作を実行させるプログラムが格納されており、ユーザが前記最初の立ち上げ時に、ユーザ登録に必要な少なくとも氏名、住所を含むユーザ登録情報を入力すると、前記制御部は、前記住所に基づいて前記アクセスポイントテーブルを検索し、1つのアクセスポイントを選択してこのアクセスポイント経由で電話

2

回線により前記ホストコンピュータに接続することにより、入力された前記ユーザ登録情報をオンラインで前記ホストコンピュータに格納するようにし、前記制御部は、前記あらかじめ定められたユーザ登録動作として、前記電子機器の立ち上げが初めての立ち上げかどうかを判定するステップと、前記初めての立ち上げと判定した時に、ユーザに対して前記ユーザ登録情報を入力させるステップと、入力された前記住所にもとづいて前記1つのアクセスポイントを前記アクセスポイントテーブルから検索するステップと、検索された前記アクセスポイント経由で電話回線により前記ホストコンピュータに接続して、入力された前記ユーザ登録情報をオンラインで送信するステップとを実行することを特徴とするユーザ登録システム。

【請求項2】 請求項1記載のユーザ登録システムにお

BEST AVAILABLE COPY

## 3

いて、前記制御部は、前記アクセスポイントテーブルに対する検索ステップにおいては、前記住所にもとづいて該ユーザに最寄りのアクセスポイントを検索することを特徴とするユーザ登録システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はパーソナルコンピュータ（以下、パソコンと呼ぶ）のような電子機器を購入したユーザの登録システムに関し、特にオンラインで自動的にしかも、電話料金を節約できるユーザ登録システムに関する。

【0002】

【従来の技術】通常、パソコンを販売する場合、パソコン購入者すなわち、ユーザに、購入後、様々なサービスを提供可能とするために、パソコンにはユーザ登録を申し込むための葉書が添付されているのが普通である。そして、ユーザが登録を申し込もうとする場合、パソコンに添付されているユーザ登録葉書に必要事項、すなわち登録情報、例えば氏名、住所等を記入し、郵送するようにしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記のような葉書によるユーザ登録方法では、手間がかかるため、パソコンを購入したすべてのユーザが登録することはなかった。

【0004】このような観点から、本発明の課題は、ユーザ登録をオンラインで自動的に行うことができるユーザ登録システムを提供することにある。

【0005】本発明の他の課題は、ユーザ登録に際して電話料金を最小限に節約できるユーザ登録システムを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明によれば、通信機能を有する電子機器の購入後、該電子機器の最初の立ち上げ時にユーザ登録に必要な情報をホストコンピュータに登録するユーザ登録システムであって、該電子機器には、電話回線を通した通信を可能とするモデムと、電話回線を通して前記ホストコンピュータに接続できるすべてのアクセスポイントを格納したアクセスポイントテーブルとが備えられていると共に、前記最初の立ち上げ時に、内蔵する制御部にあらかじめ定められたユーザ登録動作を実行させるプログラムが格納されており、ユーザが前記最初の立ち上げ時に、ユーザ登録に必要な少なくとも氏名、住所を含むユーザ登録情報を入力すると、前記制御部は、前記住所に基づいて前記アクセスポイントテーブルを検索し、1つのアクセスポイントを選択してこのアクセスポイント経由で電話回線により前記ホストコンピュータに接続することにより、入力された前記ユーザ登録情報をオンラインで前記ホストコンピュータに格納するようにし、前記制御部は、前記あらかじめ定め

## 4

られたユーザ登録動作として、前記電子機器の立ち上げが初めての立ち上げかどうかを判定するステップと、前記初めての立ち上げと判定した時に、ユーザに対して前記ユーザ登録情報を入力させるステップと、入力された前記住所にもとづいて前記1つのアクセスポイントを前記アクセスポイントテーブルから検索するステップと、検索された前記アクセスポイント経由で電話回線により前記ホストコンピュータに接続して、入力された前記ユーザ登録情報をオンラインで送信するステップとを実行することを特徴とするユーザ登録システムが得られる。

【0007】

【0008】また、前記制御部は、前記アクセスポイントテーブルに対する検索ステップにおいては、前記住所にもとづいて該ユーザに最寄りのアクセスポイントを検索することが好ましい。

【0009】

【発明の実施の形態】図1、図2を参照して、本発明の好ましい実施の形態について説明する。図1は本発明のユーザ登録システムの一例を示す概略図であり、図2はシステム動作例を示すフローチャートである。

【0010】図1において、パソコン1を購入したユーザは、自己の電話回線7をパソコンに付属のモデム5に接続しパソコン1を立ち上げる。パソコン1を立ち上げると制御部4が、図2のフローチャートの動作を行う。この動作のためのプログラムはあらかじめパソコン1に付属のROM等の記憶装置に格納されている。

【0011】まず、制御部4は、ステップS<sub>1</sub>にて初めての立ち上げなのかどうかを判断し、2回目以降の立ち上げならステップS<sub>1</sub>～S<sub>5</sub>は実行せずに終了する。初めての立ち上げなら、パソコンに付属のディスプレイにユーザ登録に必要な情報の欄を表示し、ユーザに対して情報の入力促す。

【0012】ユーザ登録に必要な情報としては、ユーザの氏名、住所、電話番号等が少なくとも必要である。また、パソコンの機種名のようなパソコン固有の情報はあらかじめ入力され、付属のROM等の記憶装置に格納されている。

【0013】ユーザはキーボード2を利用してユーザ登録に必要な情報を入力する（ステップS<sub>2</sub>）。表示したすべての欄に情報が入力されると、制御部4は、ユーザに対して入力情報に不備がないかどうかを確認させ、入力情報に不備がなければ、ステップS<sub>3</sub>に移行する。

【0014】ステップS<sub>3</sub>では、入力された住所を元に最寄りのアクセスポイント6をアクセスポイントテーブル3から検索する。アクセスポイントとは、ユーザ登録情報が格納されるホストコンピュータに電話回線を介して接続できるモデム等が置いてある場所（例えばパソコンメーカーや販売会社の営業所）で、通常、電話番号で表される。このようなアクセスポイントは全国各地に存在するので、すべてのアクセスポイントがアクセスポイン

5

トテーブル3に格納されている。一方、ホストコンピュータは少なくとも1台、場合によっては地域別に数台配置される場合がある。

【0015】制御部4は、最寄りのアクセスポイント6を検索できたら、モデム5を経由してアクセスポイント6へアクセスし、アクセスポイント6から電話回線を経由してホストコンピュータ8に接続する（ステップS<sub>4</sub>）。そして、ユーザにより入力されたユーザ登録情報をホストコンピュータ8に送信する。ホストコンピュータ8では、送信されてきたユーザ登録情報が記憶装置10に格納されることでユーザ登録（ステップS<sub>5</sub>）が行われる。

【0016】ところで、通話料金については、ユーザは最寄りのアクセスポイント6までの料金を払えば良く、アクセスポイント6からホストコンピュータ8までの料金はサービス提供者の負担となるので、ユーザの通話料金の負担は最小限で済む。

【0017】なお、本発明は、パソコンのみに限らず、通信機能を有するワードプロセッサのような電子機器にも適用できることは言うまでもない。

【0018】

6

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば購入したパソコンの最初の立ち上げ時に所定の情報入力が行われれば自動的にユーザ登録が行われるシステムのため、100%に近いユーザのユーザ登録が可能になる。また、ユーザ登録のためのアクセスポイントへのアクセスは、ユーザに最も近いアクセスポイントに対して行われるので、電話料金も最小限の料金で済む。

【図面の簡単な説明】

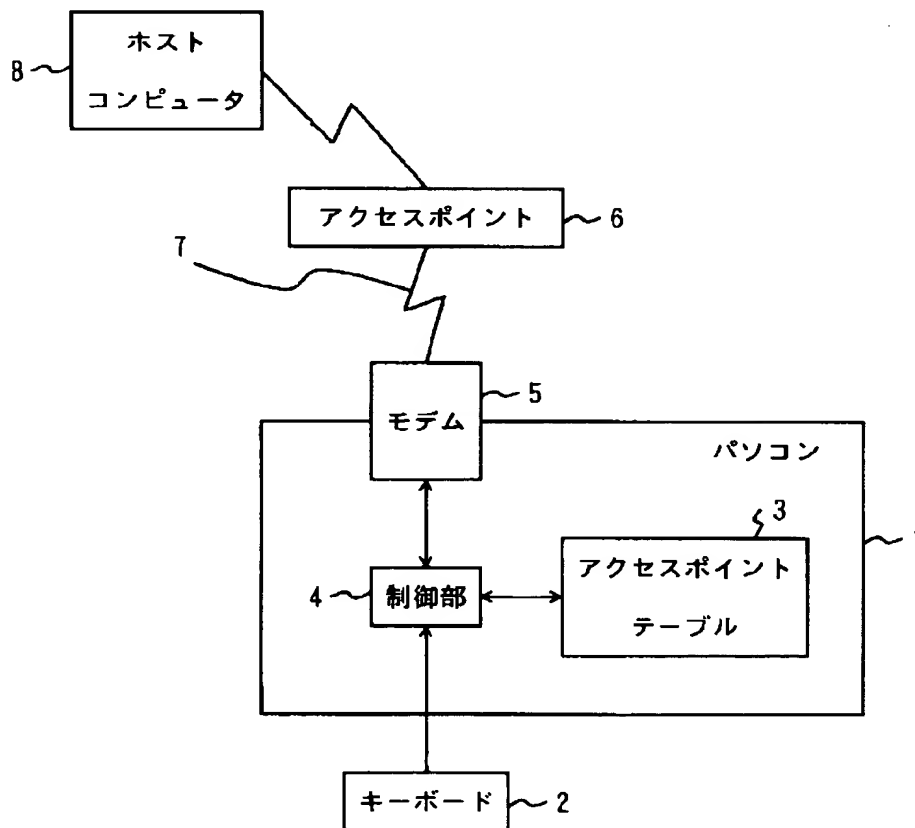
【図1】本発明のユーザ登録システムの一例を示す概略図である。

【図2】図1に示されたユーザ登録システムの動作を説明するためのフローチャート図である。

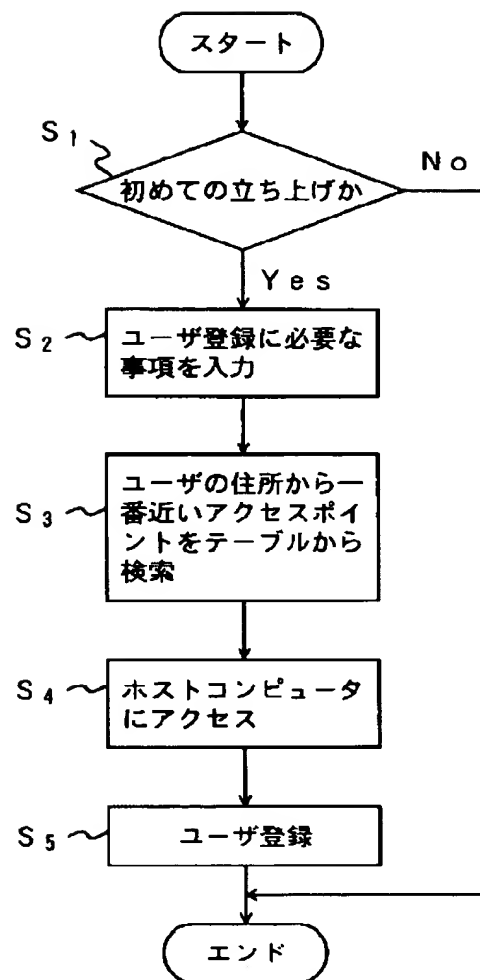
【符号の説明】

- 1 パソコン
- 2 キーボード
- 3 アクセスポイントテーブル
- 4 制御部
- 5 モデム
- 6 アクセスポイント
- 7 電話回線
- 8 ホストコンピュータ

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(58) 調査した分野(Int. Cl. 7, DB名)

G06F 17/60

H04M 11/00 303

JICSTファイル(JOIS)

BEST AVAILABLE COPY